

派遣業における乗用車、バス、バイクを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労働 者規 模
1	18～ 19	従業員を就業場所から自宅まで送迎するため運転していたのだが、青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	72	500～ 999
1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	37	500～ 999
1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	55	500～ 999
1	18～ 19	就業後に送迎車に搭乗し、自宅まで送迎中に、送迎車が青信号の交差点に進入したところ、右方より直進してきた相手方車両と接触し、そのはずみで前方の電柱に衝突した。	35	500～ 999
1	14～ 15	社用車で走行中、前方3台の車輛が減速したが、前方注意不足により気付くのが遅れ、追突を避けるため急ハンドルし、対向車線を越え空地に進入した。咄嗟のことでブレーキを踏めず、空地石壁に衝突した自損事故である。	82	1～9
2	8～9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	61	50～ 99
2	8～9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	30	50～ 99

2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	51	50~ 99
2	8~9	勤務を終了し、送迎車両へ帰社する途中、中央分離帯に車両の右側から衝突した。車両は中央分離帯に接触したまま200m程走行し停止した。右側前方が大破した。居眠り運転と思われる。	53	50~ 99
2	6~7	自動車の製造工場内にて、車両内に上半身を入れながら各種部品の組付け作業（ステアリング下部の配線、シート周辺カバーの取付け等）を行っていたところ、左胸に違和感を感じるようになった。筋肉痛だと思い、そのまま作業を続けていたが、後日早朝、左胸に強い痛みを感じたため、医師による診察・治療を受けた。	37	50~ 99
3	20~21	業務内容は自動車のフロントドア組付、及び周辺部品の組付を行っており、左手での作業が多い。左肩付近に軽い痛みがあり、そのあと痛み増して左肩が上がりなくなり、左鎖骨骨折と判明した。	29	300 ~ 499
3	17~18	技術管理者が業務中に派遣先で打ち合わせの為、車で移動中、ゆるやかなカーブで対向車がセンターラインをはみ出し、正面衝突となった。	40	100 ~ 299
4	9~ 10	デイサービス送迎中に車から降りた際、一人で足を捻り骨折した。	29	50~ 99
4	9~ 10	センター内で空車になったトラックの荷台に入り残荷確認を行ったあと、トラックから降りようとした際、トラック荷台の角に足が引っ掛かって落下し、地面にて左足膝を強打した。	44	100 ~ 299
5	16~ 17	運転中、赤信号で停止している際に後ろの車に追突された。後方車の携帯電話を操作していたことによるよそ見運転が原因である。	24	100 ~ 299
		当社開催のキャリアアップ研修へと向かう為に同僚が運転する乗用車の助手席に乗って移動していた。向かう途中の信号のある交差点で、当方が右折しようとした		300

5	8～9	号が青から黄色へと変わり、対向車が止まるだろうと進入した際に、対向車と交差点内で衝突した。この時の衝撃で助手席に乗っていた被災者は車から出られない状況となった。	57	～ 499
5	7～8	出張健診先に到着して、健診車を駐車後降車しようとした。運転席にシートやシフトペダル、ハンドル等があり狭く、動きづらい状態であった。その中で降車しようとしたが左足首が引っ掛かり抜けなかった。抜いて降りようとしたところ、体勢を崩してしまい運転席から転落した。転落した際、左足から着地したことにより足首を捻り、骨折した。	61	50～ 99
6	5～6	被災者が勤務終了後に当社の送迎車両にて帰宅する際、車道に右折して出た時、左方から直進してきた相手方車両の右前部フェンダーと当方左後部フェンダーが衝突した。被災者は後部座席に乗車しており、衝突の際に衝撃で首を負傷した。	30	30～ 49
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	41	50～ 99
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	42	50～ 99
6	6～7	派遣先へ社員を送迎中、交差点付近を走行していた際、前の車が急減速したためブレーキをかけたが、下り坂で路面が雨で濡れていたためスリップし、追突してしまった。	47	50～ 99
7	0～1	厩舎前において馬運車から降ろす際、該馬が物見し飛び降りその際左足第4・5指に着地され、同部を負傷した。負傷当日より痛さがあり我慢していたが翌日腫れが広がっているため、救護室にて診てもらい処置してもらい、骨折していると言われ湿布を貼って我慢した。	56	10～ 29
7	10～11	本社工場内の防錆作業スペースにおいて車両のアンダー足回りの防錆作業中。架台の下から車輛の足回りに防錆スプレーをかけていたところ、架台上の車輛が動き出し、車輛のアンダーの金属部分がスプレーを持った右手中指・薬指に接触し負傷した。	44	10～ 29

7	8～9	ホテル出発直後、バス車内にて朝の挨拶終了後、着席する直前のタイミングでの急ブレーキにより、前方に転倒し、右手薬指を負傷した。	52	50～ 99
7	14～ 15	運転中にエアコン操作をしようとした際、誤ってハンドルを左に切ったため、道路左側の縁石に接触して右にハンドルを弾かれた。慌てて左にハンドルを戻したところ、そのまま歩道に乗り上げ、街路樹・カーブミラーに接触し、その衝撃でエアバッグが破裂した。その際の爆発で右手首に火傷・打撲、また衝突の衝撃で両脚膝部と腰部等に打棒を負った。	70	1000 ～ 9999
7	23～ 24	派遣先より、駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	37	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	25	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	30	500 ～ 999
7	23～ 24	駅まで会社の車を運転し、派遣スタッフの帰りの送迎をしていた際に、信号機に衝突し受傷した（自損事故）。	51	500 ～ 999
7	23～ 24	駅までの帰りの送迎車に乗車していた際に、その車が信号機に衝突し、受傷した（自損事故）。	51	500 ～ 999
9	20～ 21	業務が終わり、派遣先の車庫にトラックを駐車し、事務所へ戻る為バイク（自己所有・通通勤使用）にて走行していた。片側2車線の道路を走行中、交差している道路左方面より乗用車が自身が走行している車線に右折をして来ようとしているが、乗用車は一旦停車したが当方バイクが通りすぎる前に右折を再開した為、乗用車とバイクが衝突した。救急搬送され、医師より左手・左前腕擦過傷、腰部	44	30～ 49

		打撲傷と診断された。		
9	16～ 17	車での出張帰路中、当事者が後方座席から助手席へ移動する際、運転者が出口付近の車輛渋滞で急ブレーキをかけた。その際、当事者が前方のダッシュボード及びフロントガラスに頭部、鼻を強打した。	53	50～ 99
10	19～ 20	配達に向かう路上を走行中、駐車中の車輛に追突し転倒。労災事故を発生させた。	65	500 ～ 999
11	14～ 15	出かけるために車を暖機しようとマニュアル車（軽自動車）のクラッチに左足を乗せて（身体と右足は車外）鍵を回したところ、ギアがローに入っていたため車が急発進し、左足が引っ張られ足首を受傷した。	24	1000 ～ 9999
11	12～ 13	レンタカー店敷地内の駐車場でバックしている車を誘導中、一度車が停まったためトランクを開けてお客様の荷物を取ろうとした際、更に車がバックして来て、胸部を強打し受傷した。	35	100 ～ 299
12	20～21	派遣先において、帰宅途中の事故である。体調不良のため早退し、自家用車で帰宅しようと駐車場から工場出口に向かって走行中、めまいがしてハンドル操作を誤り、空調の室外機に衝突した。	32	300 ～ 499
12	14～15	路上にて、自販機配送助手の業務中、トラックの車道側のスライドドアを開けて、積荷である飲料商品をピッキングおよび荷卸し作業をしていた。通常通りトラックの車道側でピッキング伝票を見ながら作業していたところ、賃走中のタクシーが客を降車させようとして車線を割って入り、タクシーのサイドミラーが左腰部から右臀部にぶつかり負傷した。	46	30～ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html